

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

うりずんの想い

私たちの住む地域のどこかで、重い障がいを抱えた子どもたちと24時間その子どもを介護している家族が暮らしています。うりずんは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、両親は介護から離れひと休みできる場所です。障がいを持った子どもと家族が「普通」に暮らすことができる社会を目指しています。



「ふれあいまつり IN うりずん」ついに飲食再開!!

秋晴れの清々しい風が吹くなか、「ふれあいまつり IN うりずん」が開催されました!

昨年は午前・午後の2部制での開催でしたが、今年は例年通り1部制。そして、ついに飲食再開となり、たくさんの企業様・ボランティアの皆様のご協力のおかげで、無事に開催することができました。

また、今回も日本歯科医師会様と日本財団様のチャリティプロジェクト「TOOTH FAIRY」事業の支援を受けて実施されました。

ステージのオープニングでは、笑いヨガで大笑い。笑いヨガの講師は、うりずんスタッフのお母様との噂も(笑)。それから葵雅楽会さんによる雅楽演奏では、平安時代の衣装を着てその時代の人になりきり、とても心地良い音楽を奏でてくれました。小さなサーカス団「たらたら」さんによる大道芸は、ご利用者様・ご家族を巻き込んでのはちゃめちゃで楽しいショーが繰り広げられました。また“ちょこっと”うりずん Bandでは、三線やピアノ、フルート、ドラムを演奏しながら、理事長と元職員のほっこりした歌声が響き、沖縄の音楽で

ゆったりとした時間が流れました。手話ソングではご利用者様もステージに上がり、練習の成果を披露してくれました。そしてアンコールの楽曲では、サンバのリズムで会場全体が一体となり、ご利用者様もスタッフも歌って踊って大盛り上がりでした。

デッキの遊びコーナーでは、スーパーボールすくいが大人気!子どもたちが集まり、楽しそうな声が響いていました。

屋内イベントでは、たまちゃんによるフェイスペイントや、うしさんによるバルーンアート、世界に一つだけのトートバッグづくりが行われ、たくさんの笑顔が見られました。

今年は食事をしながら、ご利用者様・ご家族の皆様との交流ができ、たくさんの笑顔が溢れていました。ご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。来年こそは、地域の皆様もお招きして、盛大に開催できることを願っています。(菊地英子)



サンバのリズムで大盛り上がり(♡^_^)♪

お顔と同じ大きさの綿あめ美味しい〜♪▶



◀うしさんのバルーンアートでニコッ(o^_^o)



昭和のレディース登場!(笑)

◀スーパーボールすくい楽しいね♡

夏らしいブルー!

空の高さに、色づいた木々が映える季節です
いつもご支援ありがとうございます
思い思いの秋のひと時を、お楽しみください
令和5年10月

認定特定非営利活動法人うりずん 理事長 高橋昭彦



自治医大学生との懇談会

令和5年9月8日、自治医大の学友会館で、医学生との懇談会がありました。ここでは、私が学生時代を過ごした旧・学生寮が建っていた場所です。卒業生の杉田義博さん(日光市民病院管理者)からお声をかけていただき、2年生から6年生までの学生有志の皆さんにお話をしました。6年の高野大河さんと荒井隆太さんは、ひばりクリニックとうりずんで学生実習を受けたご縁があり、再会を喜びました。後半の質疑では、人との接し方、障害がある人のことを露骨に悪くいう人がいるがどう捉えればいいのかなど、率直な質問を受けました。目がキラキラした学生さんとお話すると、こちらも嬉しくなりますね。



自治医大学生さんとの懇談会
前列左から、荒井隆太さん、高橋、高野大河さん。
後列右端は、杉田義博さん

こころ光る人

9月30日、栃木県医療的ケア児等支援センターくくるんの、県民向け講演会が開催されました。私から基調講演「医療的ケア児と家族のハレの日・ケの日」の後、視野を広げ、特別講演「障害を有する人たちも社会の仲間へ～インクルーシブ社会の建設～」と題し、恩賜財団済生会理事長の炭谷茂さんからお話をいただきました。炭谷さんは、厚生省官僚時代から一貫して、個人として障害者、ホームレス、引きこもり、貧困などに関する活動を継続されています。その後の対談では、参加者から「活動の原動力は？」などの質問も飛び交い、こころ温まる時間となりました。会場には、20年以上前、私に炭谷さんを紹介してくださった尾崎雄さん(元日本経済新聞編集委員)も来ていただきました。炭谷茂さん、ご参加の皆さん、ありがとうございました。



くくるん県民向け講演会 スタッフとの集合写真
前列左から尾崎雄さん、炭谷茂さん、高橋

私たちに出来ることを…

令和5年7月1日から31日までの1か月間フードドライブを行いました。フードドライブとは、フードバンク活動の一つで、家庭や職場などにある食品を集める活動です。スタッフやご利用者様ご家族、関係者の方々に声をかけしました。

反響はとても大きく、沢山の食品が集まりました。うりずんご利用者様のご家族が「よい取り組みですね!」とご協力いただきました。皆さん「社会のために、自分にできることをしたい」という思いがあると、ひしひしと感じます。

集まった食品は全てフードバンクうつのみやさんに寄贈し、困っている方々への支援に役立てていただきました。今後も定期的に関催したいと考えています。
(益子・内尾)

うりずんフードドライブ



これらの他にも沢山ご協力いただきました

うちやばちよ〜で〜会^(*)

夏休みのイベントを終えて

好きなアイスを発表しながらの自己紹介でスタート。まだ少し緊張した様子で始まった「みんなで夏休みの宿題をやろう!」は、初めて会うきょうだいさんもいましたが、「カラフルな水の層をつくってみよう!」が始まるとみんな興味津々。スタッフはドキドキ。そして笑顔が見られるようになりました。この自由研究は夏休みの自由研究として立派なものになったようです。宿題や自主学習にも熱心に取り組むきょうだいさんの姿も見られました。お楽しみのエアトランポリンでは、全身ではじめて飛んで遊び、お帰りのアイスタイムは、和気あいあいとした優しい空気に包まれていました。

このきょうだいさんのつながりを大切に、来年もさらにバージョンアップした企画を考えていきたいと思っております。きょうだいの皆さん、また是非参加してくださいね。

(秋谷美千子)

(*) うりずんのきょうだい支援を考える会の名称



まだまだ頑張る子も、宿題が終わった子も



お塩10グラムはこれくらいかな?

おもちゃ病院が1日うりずんに開院したよ

大好きなお気に入りのおもちゃの壊れたところを治療してくれる、10名のおもちゃドクターがうりずんに来られました。

うりずんの入り口にあった恐竜が鳴き声を上げしっぽが動いた時は大きな歓声が上がりました。次々と治療して19体すべて完治。子どもたちは制作したタンバリンの音にあわせた「おもちゃのチャチャチャ」を披露し、お礼の気持ちを伝えました。

おもちゃドクター代表の高橋様から「うりずんはあたたかい感じでも居心地

が良く、皆さんから音楽のお礼を

いただき感動しました。また来年も来られるようにしたいです」とご挨拶いただきました。おもちゃドクターがおもちゃを治療しているところを真剣に見ている子どもたちのキラキラした表情が印象的でした。

(渡辺みゆき)



治療待つ恐竜くん (治療後、鳴きます)



皆でおもちゃドクターにお礼をしています



診察を受けています

くくるん県民向け講演会

令和5年9月26日に「くくるん県民向け講演会」をとちぎ福祉プラザ多目的ホールで開催し150名以上の方々にご来場いただきました。

基調講演は高橋昭彦センター長が医療的ケア児者とその家族の生活における、特別な日(ハレの日)と日常(ケの日)についてお話ししました。きょうだい支援や成人移行についても話もあり、皆さん興味をもたれていました。

特別講演は炭谷茂氏(社会福祉法人恩賜財団済生会理事長)からソーシャルインクルージョン社会(誰一人取り残されない持続可能で多様性と包摂性のある社会)の実現への取り組みや、現代社会における様々な問題から、目指すべき福祉国家についてお話しいただきました。

その後の対談の中での質疑応答ではいくつもの質問に対し丁寧にご回答いただき、会場の皆様から「明日からの活動の活力をもらいました」とのご感想もいただきました。

県民向け講演会は昨年同様に後日動画配信も予定しております。詳細が決まりましたらくくるんのHPなどでお知らせいたしますので、当日お越しになれなかった方も是非ご覧ください。

(田中靖子)



対談での熱いトークに会場も盛り上がりました



「夏の思い出」

保育士 齋藤由美子



バシャバシャ! チャブチャブ! プカプカ!
ジャブジャブ!

水は色々な音をもっています。その音と共に子ども達にたくさんの楽しみを用意してくれています。手のひらで触ると形が変わり、その強さで音も変わります。水道から流れる水は肌をくすぐるように動きます。思わず手を動かしたくなるお水遊び…。手と一緒に子どもの心も動かしてくれるのがお水遊びです。

夏はその水を身体全部で楽しめる季節。うりずんでも水着に着替えてプールで水遊びを楽しみました。

水着を着ることもプールに入ることも初めてのお子様もいます。その子一人一人の体調と楽しむ気持ちに寄り添いながら水遊びを進めていきました。

もちろん大人も水着に着替えて一緒に入ります。

大人にしっかり抱っこされると安心したように体の力を抜いて、浮力を楽しんでにっこり笑顔を見せてくれた年少さん。年長さんはプールにも慣れて、浮き輪でプカプカ! 一番に入って最後の最後水が抜けるまでプールから出ようとしません。

お水が苦手な子はたらいの水に手を浸す遊びを楽しみ、廊下から水鉄砲でプールへ放水してみんなを盛り上げてくれました。

プールという囲まれたスペースでは、いつもよりお友達を近くに感じる事ができます。「楽しいね!」をたくさん共有して、それぞれが体いっぱい夏を味わってくれました。



<<<各事業稼働状況 >>>

(2023年9月30日現在)

日中一時支援事業 ●現在の登録状況……58名

●2023年7月～9月のご利用状況 (人)

7月	8月	9月	合計
191	195	172	558

* いずれも延べご利用人数です

居宅介護事業 ●現在の登録状況……25名

移動支援事業 ●現在の登録状況……17名

相談支援事業 ●現在の登録状況……23名

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

●2023年7月～9月のご利用状況 (人)

	7月	8月	9月	合計
児童発達支援	94	106	98	298
放課後等デイサービス	113	133	110	356

●現在の登録状況

◆児童発達支援……16名

◆放課後等デイサービス…30名

* いずれも延べご利用人数です

見学・ボランティア等ご来所者数

●2023年7月～9月のご来所状況 (人)

	7月	8月	9月	合計
見学者	12	18	10	40
ボランティア	3	3	15	21
計	15	21	25	61

※ 詳細につきましては、認定 NPO法人うりずんHP「事業所案内 活動報告」をご参照ください。

うりずんの仲間たち

ご家族に伺いました♪

名前：凌矢

ニックネーム：りょうやっぺ

年齢：4歳

好きなこと：スーパーめぐり (美味しそう匂いを嗅ぐ)、抱っこ、バランスボールやトランポリンで跳ねる運動、長風呂

嫌いなこと：裸になること、放置されること (抱っこしないこと)

うりずんでどんなところ? : お友達、先生と色々なことをして遊んで生活して刺激をもらうところ

メッセージ：うりずんに通い始めてさらに自我が始めて我儘 (特に食にうるさい) ですが、優しい先生方やお友達のフォローがあるおかげで集団生活を楽しく過ごせており日々成長できています！引き続きよろしくお祈りします！



名前：亀山耀馬

ニックネーム：ようちゃん

年齢：年中、4歳

好きなこと：お風呂に入ること、音楽を聴いて体を動かすこと
嫌いなこと：足ツボを押されること、1人になること、大きな音

うりずんでどんなところ? :

友達も出来て色々な事を経験できる所、家族を笑顔にさせてくれる所、家族共々大好きです

メッセージ：いつもうりずんの皆さんに支えられて生きています♪ 時々、体調を崩してしまっていますが、いつも温かく受け入れてくれるうりずんさんには本当に感謝しています。これからも宜しくお願いします！



お星さまになったお友達



2023年7月29日、塙隆之さんが天に召されました。享年21歳でした。高校一年生から放課後等デイサービスを、卒後は日中一時支援をご利用いただいておりました。毎回お母様の手づくり弁当をとておいしそうに召し上がる姿が印象的でした。

また、恥ずかしそうに照れる時は可愛らしさがあり、頭を上げてシャキッとされるときは、お父様がよく仰っていた、まさにいい男でした。

隆之さんとの出会いは、私たちにとってかけがえのないものでした。心からご冥福をお祈り申し上げます。

アオナツ～心に灯す青い炎～

KOMEY

君と出会い過ごした、この夏は僕にとって特別だった。

どの思い出にも君がいて、その隣に僕がいる。ただ、それだけの…誰かにとってはつまらない、だけど大切なトクベツだった。

何をしたとかそういうこともなく。

まっさらだった砂浜に足を踏み入れるように、いままで知らなかった気持ちが、感情が…僕の心に刻まれていった。

青春というのが、何なのか…今までの僕にはわからなかった。

そんな僕も君と出会って、この夏に分かったことがある。

炎の内側の青がより熱くなるように。君を思うと春の陽だまりのような暖かさを感じるのは、その時僕の心の奥がキレイな青に染まっているから…

そこで生まれる感情を、青春というんじゃないかと。

雲一つない青空の下、君と過ごしたこの夏は初めての青春を感じた、忘れられない…そんな夏だ。

「うりずん応援団」コーナー

NPO法人うりずん寄付者名簿 (敬称略)

令和5年7月1日～9月30日(到着分)

ご寄付 2,382,744円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 96名(うち匿名14名)

岩手県 一戸町 田中 恭子	宇都宮市 塚本 明子	日光市 山口健太郎	塩谷町 小野崎千鶴子	台東区 後藤 由紀
栃木県 宇都宮市 石井 信行	床井 忠夫	さくら市 加藤 朋子	群馬県 渋川市 菅野 圭一	板橋区 山岸志恵子
宇都宮東オータリークラブ 今泉あゆ美	内藤 信雄	さくら市民生委員児童委員協議会 連合会 障がい者福祉部会	埼玉県 さいたま市 宮谷 博幸	北区 杉田 義博
植木 茂	野呂 和子	大田原市 渡邊 学	千葉県 川口市 齊藤 喜作	町田市 横手 貴子
大柿 裕一	堀 尚恵	那須塩原市 日下部 慎	高橋 潤	神奈川県 横浜市 永田 幸雄
大柿歯科医院	半田 孝	那須烏山市 檀山 光治	松戸市 橋本めぐみ	横須賀市 (有)ヒコ薬局
岡田 大輔	平石 紀子	真岡市 菊池 浩史	印西市 イエス・キリスト・コミュニティ 教会 印西ウイングヒルチャペル	川崎市 小竿 順子
岡本寿美子	福田 勤	下野市 村上 八郎	東京都 港区 酒井三貴子	大和市 関根まき子
金山 昭夫	水上 直人	小山市 小島 好子	江東区 小野 一巳	滋賀県 大津市 藤田 義嗣
金子 徳代	麦倉 泰子	佐野市 坂本 寿子	新宿区 秋山 正子	大阪府 池田市 高橋 昭夫
(株)キープキャリアール 企業組合 とちぎ労働福祉事業団 合同会社エートス	武藤 高茂	矢板市 ナディーム ムハンマド	文京区 尾崎 雄	宮崎県 宮崎市 日高 良雄
後藤 薫	谷田貝 香	足利市 藤本 早	中野区 塩田美津子	うりずん応援団募金箱
柴崎 淳子	横山 崇	壬生町 村上妃沙子	中村 洋一	
関端 榮子	下妻 和彦	高根沢町 佐藤 正行		
高野 一之	日光市 大嶋 洋子			

■個人賛助会員 55名入会(匿名5名)

栃木県 宇都宮市 金山 昭夫	宇都宮市 平石 紀子	那須烏山市 檀山 光治	千葉県 松戸市 橋本めぐみ	西東京市 西川 義昌
倉井カツ子	福田 健史	下野市 田村 隆	東京都 港区 酒井三貴子	立川市 田添 敦孝
近藤 貴子	福田 朋子	矢板市 藤本 早	江東区 小野 一巳	神奈川県 大和市 関根まき子
齋藤 禎	矢古宇栄次	栃木市 大友 崇義	新宿区 秋山 正子	石川県 小松市 清水まゆ美
菅原 拓朗	築瀬 静江	佐野市 ナディーム ムハンマド	渋谷区 東尾 愛子	奈良県 桜井市 上山 三幸
須藤 勝則	吉田 良二	高根沢町 菅野 安子	板橋区 櫻井 敏子	京都府 京都市 森本 恵子
高木登茂子	渡辺みゆき	日光市 小貫美砂恵	北區 山岸志恵子	長崎県 西彼杵郡時津町 下村千枝子
竹内美由紀	川村 和枝	群馬県 前橋市 鈴木 美雪	北区 杉田 義博	
塚本 明子	芳賀マサ子	渋川市 菅野 圭一	大田区 荒木 光子	
中村 京子	日原 拓美		目黒区 下島 恵子	
中村 好一	日光市 檀山 逞叶			
	さくら市 檀山 逞叶			

■団体賛助会員 8団体(匿名1団体)

栃木県 宇都宮市 企業組合 とちぎ労働福祉事業団 公益社団法人 栃木県看護協会	宇都宮市 NPO法人 サロンみんなの保健室 株式会社 ファーマーズ・フォレスト 有限会社 フレンド	佐野市 柳川小児科医院	熊本県 合志市 認定NPO法人 NEXTEP
---	---	-------------	---------------------------

ご寄贈ありがとうございました。

多くの方々から寄贈品をいただきました。誌面の都合により、すべての寄贈品を掲載できず、申し訳ございません。心より御礼申し上げます。



佐藤様



かずあるかたち様



上澤様



益子様



荒川様



稲葉様



「うりずん応援団」とは…「うりずん応援団」はうりずんに関わる全ての方々（利用者様、ご家族様、ボランティアさん、関係機関の皆様、ご支援者や協賛企業の皆様、そしてスタッフ等）が会員となり、共にうりずんを応援していこうという活動です。

【うりずん応援団 協賛企業会員】

Special会員

Special会員

Special会員

Special会員

Regular会員

Regular会員

Regular会員

Regular会員

Regular会員

Regular会員

Regular会員

Regular会員

Regular会員

うりずん応援団に、ぜひご参加ください！

うりずんは、活動の趣旨に賛同し、寄付や会費、ボランティア等でご支援くださる個人や団体、企業を「うりずん応援団」と名づけ、支援者の輪を広げています。一人でも多くの子どもと家族を笑顔にするためにぜひ、「うりずん応援団」にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

○うりずん応援団

継続的にご支援をいただける方は、年会費（定額）による支援をお願いします。

《賛助会員》

個人3,000円 団体10,000円（寄付扱いとなります）

《協賛企業会員》

Regular 1□ 10万円

Special 1□ 20万円

Premium 1□ 50万円

《一般寄付》（金額は任意で設定いただけます）

【各種振込先のご案内】

振込みは、ゆうちょ銀行の専用口座へお願いします。（誠に恐縮ですが、手数料は別途ご負担をお願い申し上げます）

<ゆうちょ銀行からのお振込み>

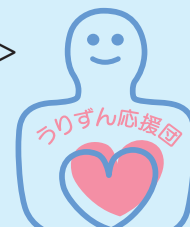
口座番号：00110-4-441471

口座名：特定非営利活動法人 うりずん

<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>

〇一九店（ゼロイチキュー店）

当座：0441471



【オンライン寄付】

うりずんのホームページ

(<http://www.npourizn.org/>) から

ご寄付と賛助会員のオンライン決済ができます。

(Visa/Master/Amex/ダイナースが利用できます)

【寄付金額の最大 50%が税金から戻ってきます！】

「うりずん」は「認定NPO法人」のため、うりずんへの寄付には確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。

クリスマスプレゼントご寄付のお願い

昨年、皆さまからたくさんのご寄付をいただき、3年ぶりに対面でのクリスマス会を開催することができました！今年も対面でのクリスマス会の開催を予定しております。つきましては、今回もご利用者ときょうだいたちへ「クリスマスのお楽しみ」としてうりずんサンタからプレゼントをお届けしたいと思います。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



ビンゴでプレゼント抽選会



サンタとトナカイからプレゼント



クリスマスプレゼント

■ご寄贈品目

*現金でのご協力

(職員が代わりにご利用者の年齢に応じたプレゼントを購入します)

*「アマゾン欲しいものリスト」から購入(ネットショッピング Amazon の利用サービス)

*品物の場合(1歳～40歳までの)ご利用者様とそのきょうだいたちが喜びそうなもの(新品のみ)

※ぬいぐるみやイベント品はご遠慮いただいております。

■ご送付方法

*同封の振込用紙にてのお振込み、またはオンラインにてのご寄付(クリスマスプレゼント代と明記)

*アマゾンをご利用の場合、右記の QR コードからご購入ください。

*品物の場合は着払いでお送りいただく(職員が取りに伺うことも可能ですので、ご一報ください)

ご協力いただきました方々は次号の通信で紹介させていただきます。



子どもの貧困撃退♡チャリティ 第8回サンタ de ラン&クリーン

■日時

2023年12月17日(日) 10:00～15:00(予定)

■会場

オリオンスクエア・宇都宮市オリオン市中心部

子どもの貧困をなくすために、サンタになって宇都宮市内を走るチャリティイベントです。

今年はパレード／ラン(走る)／クリーン(ゴミ拾い)で参加が出来ます。ランは初めてとなる1時間無制限コースが登場！イベントに参加するもよし、寄付をしていただくのも参加方法の1つです。あなたも子どもの貧困をなくすサンタクローズになってみませんか？

詳しくは、とちぎコミュニティ基金 HP からご確認ください。 <https://tochicomi.org/santa/>

お問い合わせ先

とちぎコミュニティ基金 サンタ de ラン実行委員会
(認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク内)

電話 ☎ 028-622-0021

メール ✉ info@tochicomi.org



2022年度
サンタ de ランのようす

編集後記



今回より読みやすさを考え、文字や写真を大きく致し、皆様からの御意見を頂き、さらに良い通信をお届けしたいと考えております。
寒暖差が激しい日です。お身体ご自愛下さい。 益子 椰子



うりずん通信・テレマカー

第 47 号 2023年10月26日発行

<https://www.npourizn.org/>



【編集・発行】 認定特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1
TEL: 028-601-7733(代) FAX: 028-665-7744(代)
Mail: urizn@hibari-clinic.com

【デザイン・印刷】 デザインスタジオ アクセス